

徳山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	特別講義	
科目基礎情報							
科目番号		0163		科目区分	専門 / 選択		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科		土木建築工学科		対象学年	5		
開設期		後期		週時間数	1		
教科書/教材		各講義による。					
担当教員		目山 直樹					
到達目標							
学校の授業では学ぶことの出来ない、社会の情報や常識を吸収する。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		社会の情報や常識について十分理解している。		社会の情報や常識について理解している。		社会の情報や常識について十分理解していない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
JABEE d-4 到達目標 C 2							
教育方法等							
概要		土木工学、建築学における仕事、業務、現場における実状など実践的な内容を幅広く、多角的視野で理解するため、企業、官公庁、大学さらには海外から講師を招き、即戦力となる技術者的な感覚を身に付ける。					
授業の進め方・方法		講義は、 7回、集中講義形式で開講する。全ての講義について、受講した内容をレポートをする。					
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	第 1 回		受講		
		2週	第 1 回		レポート提出		
		3週	第 2 回		受講		
		4週	第 2 回		レポート提出		
		5週	第 3 回		受講		
		6週	第 3 回		レポート提出		
		7週	第 4 回		受講		
		8週	第 4 回		レポート提出		
	4thQ	9週	第 5 回		受講		
		10週	第 5 回		レポート提出		
		11週	第 6 回		受講		
		12週	第 6 回		レポート提出		
		13週	第 7 回		受講		
		14週	第 7 回		レポート提出		
		15週	ふりかえり		レポート提出		
		16週	講評		講評		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	グローバル化・異文化多文化理解	グローバル化・異文化多文化理解	世界の歴史、交通・通信の発達から生じる地域間の経済、文化、政治、社会問題を理解し、技術者として、それぞれの国や地域の持続的発展を視野においた、経済的、社会的、環境的な進歩に貢献する資質を持ち、将来技術者の役割、責任と行動について考えることができる。		3	
評価割合							
		受講		レポート		合計	
総合評価割合		30		70		100	
評価		30		70		100	